

《2024年4月 テーマ別選書》『犬と会話する方法 動物行動学が教える人と犬の幸せ』を3月に刊行しました。図書館流通センターでは、「生物多様性の本箱」展示を全国50館以上の図書館で開催しております。📄 https://www.trc.co.jp/topics/event/e_biodiversity.html
弊社でも、「動物や植物、生物学」にまつわるジャンル、テーマにしている資料がありますので、以下にてご案内させていただきます。

NDC分類	件名	ISBN13桁	書影	書名	初版年月	本体	編著者名	内容説明	電子化の有無
645.6	いぬ(犬)-飼育	9784766429411		犬と会話する方法 動物行動学が教える人と犬の幸せ	2024年3月	2,400	パトリシア・マコーネル著・村井理子訳	何千頭もの問題を抱えた犬と向き合ってきたドクトレーナーで、動物行動学者でもあるパトリシア・B・マコーネル。動物学の知識とトレーナーとしての長年の経験を活かし、彼女が出会ってきたさまざまな犬たちとのストーリーを紹介しながら、犬の学び方や、人間との行動や認知の違い・共通点をふまえて、犬とよりよい関係を築き、共に幸せに生きるための心得と方法を伝授するベストセラーエッセイ、待望の邦訳！	一部機関 5月予定
645.7	猫(ねこ)、動物心理学	9784766428438		ネコはここまで考えている 動物心理学から読み解く心の進化	2022年9月	2,000	高木佐保著	ネコは伴侶動物として不動の人気を誇るが、他の動物と比較して認知研究は進んでいない。気鋭のネコ心理学者が、ネコの特性に適した独自の研究方法（聴覚能力を生かす方法）を考案し、人間のきまぐれな親友ネコのミステリアスな心を覗く。	○
645	生物、動物—飼育、支配	9784766425376		飼う 生命の教養学13	2018年7月	2,400	赤江雄一編	身近なペットと人との関係、養殖や畜産、そして実験動物から古代ローマの奴隷やナチズム、そして現代日本の人身売買まで見渡す。さらに、人体の腸内の微生物の機能をあきらかにし、飼うことの倫理学を中心に置く。	—
382	アラスカ、動物、環境、共生(動物)、少数民族—アラスカ州	9784766428452		犬に話しかけてはいけない 内陸アラスカのマルチスピーーズ民族誌	2022年10月	2,400	近藤社秋著	内陸アラスカではかつて「犬に話しかけてはいけない」という禁忌があった——。マルチスピーーズ民族誌と環境人文学の視点から、フィールドワークを通してアラスカ先住民の人々と「自然環境」との関わりを描く。	○
452	海洋学	9784766428360		クジラの海をゆく探検者(ハンター)たち 上	2022年10月	3,000	リチャード・J・キング著 坪子理美訳	白いクジラを追って捕鯨船が世界の海を冒険する物語『白鯨』、その豊かな内容を現代の自然科学の水準で検証し、読み解きながら、人間とクジラの長い営みから得た知恵を現代に蘇らせる！	○
452	海洋学	9784766428377		クジラの海をゆく探検者(ハンター)たち 下	2022年10月	3,200			○
467	遺伝学 — 辞書	9784766425253		遺伝学辞典	2018年6月	15,000	Robert C. King, Pamela K. Mulligan, William D. Stansfield 編/公益財団法人遺伝学普及会監訳	遺伝学やライフサイエンス関連事項 7,340 項目を収録し、有用なデータを盛り込んだ充実の 6 つの付録を用意。また、遺伝学上重要な 1,036 件の歴史的出来事を年表として収録し、日本遺伝学会などが見直しを進める新和名を併記した、最も信頼できる遺伝学辞典！	○

NDC分類	件名	ISBN13桁	書影	書名	初版年月	本体	編著者名	内容説明	電子化の有無
467	バイオインフォマティクス	9784766427912		バイオインフォマティクス入門 第2版	2021年12月	2,700	日本バイオインフォマティクス学会編	発行部数1万部を超える、バイオインフォマティクス技術者認定試験公式教科書の改訂版。近年の研究・開発動向を反映して、深層学習やAI、研究倫理・法令について増補。同分野に関心を持つ全ての初学者におすすめの一冊。	○
489.6	くじら(鯨)、進化論、進化	9784766422955		遺伝子から探る生物進化1 クジラの鼻から進化を覗く	2016年2月	2,000	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 岸田拓土著	小笠原から極北アラスカ、そして南太平洋バヌアツへ。嗅覚をキーワードに、クジラの進化を追いかけた。日本の調査捕鯨問題にも一石を投じた一冊。	○
481.2	発生学、動物形態学、進化論、進化	9784766422962		遺伝子から探る生物進化2 胎児期に刻まれた進化の痕跡	2016年2月	2,000	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 入江直樹著	私たち人間を含めた動物が胎児(胚)のとき、遠い何億年も前のご先祖様と同じ姿をしていたかどうか—進化発生学(エポデボ)にまつわる150年以上も未解明の大問題に挑んだ著者を待ち受けていた結末とは!	○
471.2	植物発生学、進化論、進化	9784766422979		遺伝子から探る生物進化3 植物の世代交代制御因子の発見	2016年2月	2,200	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 榎原恵子著	生物の形づくりにかかわる遺伝子に着目すれば、進化の過程で異なる形をもつようになった理由がわかるのではないかと。植物の形や生活の様式を変える遺伝子を発見することとなったヒメツリガネゴケの研究を紹介!	○
487.51	魚類、生物分類学、系統学(生物学)、進化	9784766422986		遺伝子から探る生物進化4 新たな魚類大系統 —遺伝子で解き明かす魚類3万種の由来と現在	2016年10月	2,400	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 宮正樹著	世界の海や川には33,462種の魚がいる! 遺伝子を比較して魚の過去を復元したところ、教科書を書き換える予想外の結果が次々と得られた。分子系統学が解き明かす魚類5億年の進化史。	○
471.3	植物生理学、生殖	9784766422993		遺伝子から探る生物進化5 植物はなぜ自家受精をするのか	2017年8月	2,400	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 土松隆志著	ある植物は自家受精ばかり行ない、また別の植物は自家受精をかたく拒む。このちがいは何なのか。長年の論争に遺伝子解析から挑む、遺伝子から解き明かす進化の最前線を紹介するシリーズ、第5弾!	○
471	生殖(植物)、進化	9784766423006		遺伝子から探る生物進化6 多様な花が生まれる瞬間	2018年6月	2,400	斎藤成也・塚谷裕一・高橋淑子監修 奥山雄大著	チャルメルソウ類の研究からたどり着いたのは、進化生物学で最古のテーマでもある「種の起原」という最も挑戦的な問題だった。花とその花粉を運ぶ虫との共生関係から、種の分化という謎に迫る。	○
481.1	色素細胞	9784766422528		色素細胞 第2版	2015年8月	7,500	伊藤祥輔・柴原茂樹・錦織千佳子監修	日本色素細胞学会の中核メンバーと新進気鋭の色素研究者が、全21章のなかで色素細胞の基礎から臨床までを、豊富な文献とともに解説する。	○
483	繊毛虫綱	9784766425383		ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物 テトラヒメナの魅力	2018年10月	1,800	沼田治著	ダイニン、テロメア、リボザイム、ヒストンアセチラーゼ、テロメアRNA、スキャンRNAと、次々と(2件のノーベル賞受賞を含む)重要な発見に結びついた、優れた生物・テトラヒメナの魅力を紹介。	○